

大項目	中項目	具体的な取り組み内容	アンケート回答率 (満足度)		自己評価の結果・今後の方策
教育活動	人間力の向上 さまざまな経験のなかで、「七つの約束」を実践し、正しい生活習慣を身に付け、夢を持ち、夢を追いかけるなかで、「自ら人間性を高めていく力」	・生活習慣の定着を目的とした登下校指導(身だしなみ、挨拶)の強化。 ・夢手帳の活用で日々の振り返りで人間力を研磨する。 ・生活の中で七つの約束を意識して実行するよう意識づけ。	中学校	94.5%	【全体】 日々の振り返りの習慣付けのために夢手帳やオンラインツールを利用する指導をし、全校的に身につけてきている。振り返りの内容の濃さについてはさらによりものになるよう指導を継続していく。 【郁文館中学校・高校・グローバル高校】 生活改善アンケートを実施することにより生徒自身に気づかせること、学年集会ではあるべき姿を繰り返し説諭することで促している。家庭との連携を密に引き続き取り組んでいく。 【ID学園高校】 夢アプリ等の活用により、日々の中で七つの約束を意識して行動できていると自己評価している生徒が増えているが、「意識している」状態から「成長している」という状態まで引き上げていけるよう引き続き取り組んでいく。
			高校	96.3%	
			グローバル高校	98.1%	
			I D学園高校	84.8%	
	学力の向上 学ぶ意欲に溢れ、学習習慣が確立され、夢実現の推進力となる、絶対的な知識とそれに基づく「応用力を獲得できる力」	・学年に応じた進路指導のため、各学年に進路指導担当者を配置。 ・授業担当教員の授業遵守事項100％達成。 ・実施後の分析による効率的な模試の活用。 ・好き・得意を生かした進路選択×高みを目指す学習・進路指導	中学校	84.0%	【全体】 教科主任会を通じ、個々の教員の授業力向上に努めた。生徒アンケートによる授業担当教員の授業遵守事項100％達成率は99.5％と高い水準となった。授業内容の理解促進に対する工夫についても高い評価があった。今後も定期的な授業巡回・研究授業等を通じて高い水準を維持したい。 【郁文館中学校・高校・グローバル高校】 定期考査及び模試の終了後に教員で内容を分析。それに合わせ、個別指導だけでなく、全体方針として苦手とする者の多かった科目の強化授業を行ったことで科目ごとの成績上昇者が見られたため、今後も継続して取り組んでいきたい。 また、グローバル高校では、海外大学現役合格率2年連続日本1位を獲得することもできた。 【ID学園高校】 新しい知識や体験型授業による学び、授業の工夫や多様な教材活用をしたスクーリングを実施し、生徒の意欲向上につながった。より一層、全生徒が安心して参加できるスクーリング運営を目指していきたい。きめ細やかな進路指導により72.8％(※私立通信制高校の平均進学率54.0％)という高い進学率を達成することができた。
			高校	91.1%	
			グローバル高校	94.4%	
			I D学園高校	82.4%	
	グローバル力の向上 いつでも、どこでも、誰とでも対話を通じた合意形成をもとに未来を創造し、異なるものと共生し、「未来を切り拓くことができる力」	・外部連携増加、新たな国内研修の企画によるSDGsに対する意識の向上。 ・海外研修プログラムのブラッシュアップ。 ・姉妹校との交流促進。	中学校	87.6%	【全体】 国連のGlobal Goals Weekに合わせて、学園独自のSDGs weekを設定し、取り組んだ。ユネスコスクール正式認定の実現することができた。 【郁文館中学・高校・グローバル高校】 『日本で一番、SDG sに関心と知識を持ち、自ら行動に移すことができる人材を輩出する中学・高校であること』を目標に全校生徒への働きかけを行った。1階エントランスの夢教育共創ラボにおいて、SDGsの訴求を月ごとにテーマを変えて実施、体育祭や郁秋祭における募金活動の実施など自主的な生徒の活動のサポートを引き続き行っていく。 【I D学園高校】 『SDGsを学ぶことは「生きる力を育むこと」、SDGs教育とは、「未来の地球人を創る教育」である』を掲げ、独自の探究プロジェクト「夢活」を展開、自分の興味があることをテーマとし、社会課題を結び付けながら探究活動を実施。慶應義塾大学名誉教授である田中茂範氏による指導のもとさらに充実したものにしていく。
			高校	91.5%	
			グローバル高校	94.7%	
			I D学園高校	83.2%	
学校運営	教員の働きがい 仕事を通じての自身の成長を感じることができる。	・新評価制度の運用 ・新研修制度設計 による教員が成長する学校作り	教職員	94.2%	・教職員アンケートにおいて、研修の実施回数について言及もあったが、ねらいのある教員研修に対して概ね評価を得た。引き続き、教員が自身の成長を感じられる研修プログラムの策定に力を入れていく。事務局職員については実務に直結した研修を希望する声もあり、外部研修の情報発信なども含めて検討していく。
	教員の働きやすさ DX化、仕組み改善、制度改善による教える効率や働きやすさを感じることができる。	・業務のデジタル化 ・ICT環境の教員活用率100％ による教える効率化と働き方の効率化を最大化		88.4%	・校務支援システムの導入による業務改善の実感を得たという意見を多く受けた。また、教員の指導用ICT端末等の使用方法、勉強会などのフォローが丁寧であることについて高い評価を得た。引き続きスピード感をもった丁寧な対応に力を入れていく。
	安全安心な学校生活 働く教職員の幸せ、学ぶ生徒の成長、保護者の満足度の3つの実現	・保護者、生徒、教職員に対するサービス改善により信頼感、安心感の向上に貢献 (アンケート満足度80％目指す)	保護者	91.1%	«教職員アンケート» スピード感ある対応、丁寧な対応について評価を得たが、だれが何を担当しているのかわからないという意見もあった。事務局前に席表および担当業務割を掲示、配信するなど対応していく。 «保護者アンケート» スピード感ある対応、丁寧な対応について評価を得た。 アンケート満足度は80％を超え、目標を達成することができた。引き続き親切・誠実・スピード感を意識した対応を行っていく。 【郁文館中学校・高校・グローバル高校】 生徒が生き生きと学校に通うことができている。授業を通じて学ぶ楽しさを感じられているなどの高い評価が得られた。 【ID学園高校】 学校行事や特別活動、体験型学習に生徒が主体的に取り組むことができていると評価を得られた。教職員の電話対応や問い合わせ対応の丁寧さに対する評価が得られた。

5：とても満足（達成度80％以上）、4：満足（達成度60％以上80％未満）、3：普通（達成度40％以上60％未満）、2：不満（達成度40％未満）、1：非常に不満（達成度20％未満）

保護者は、上記選択肢に「0：判断できない」を含めて実施。アンケート回答率(満足度)は上記5,4,3の回答数で算出。